

「国際金融都市OSAKA推進委員会」2021年度第1回総会
議事概要

○とき:令和3年9月9日(木曜日)13時00分から13時50分まで

○ところ:大阪府新別館南館8階 大研修室

○出席者:名簿のとおり

1 開会

【司会(事務局)】

- ・開会、会議の公開(YouTube 同時配信)の説明、委員紹介(名簿にて)。
- ・出席アドバイザー(岩下アドバイザー、引頭アドバイザー、高屋アドバイザー)の紹介

2 報告事項

- ・交代役員の紹介。新たに就任した関西経済同友会代表幹事の古市代表幹事から就任あいさつ。

【古市副会長ごあいさつ】

深野前副会長を引き継ぎ、一生懸命やってまいりますのでよろしくお願いいたします。

【事務局より「2021年度活動報告」説明】

3 議事

【松本会長】

- ・ 骨子案を見ると、大体の方向付けはできており、これを今年の終わりや来年3月までにどう発展させていくのかは、これからだと思っています。
- ・ 私自身としてはToDoリストを作って、一つ一つ固めていくその過程でこれはもうあかんということが出てくると思いますが、国際金融都市として非常にブロードなコンセプトで進めているので骨子も非常にブロードにまとめられています。今後、アドバイザーなどの知恵も借りて来年3月までにToDoリストを提示して実行していこうと思っています。
- ・ 2025年の万博、30年、50年と非常に長いスパンで国際金融都市を大阪に定着させるよう進めますが、なかなかタフな仕事で、万博より難しいのではないかと感じることもあります。万博は祭りに済むが、国際金融都市はあらゆる英知を投入して他所に負けないものを作ろうと思うとしんどい感じはあるがやっていきます。
- ・ 3月の設立総会后、大阪・関西らしい国際金融都市の戦略検討にあたって、各委員の皆さまにて、活発に議論いただき、ありがとうございました。
- ・ 私から、いただいたご意見をふまえて、とりまとめた骨子案のポイントを紹介します。
- ・ まず、戦略策定にあたって重視すべき視点として、

- ・ 「地域の発展」、これは公的な性格を帯びたプロジェクトであるということを基本として念頭に置いています。「SDGs」、「アジア・グローバル」、「差別化・補完化」、「デジタル化」、「関西広域」をあげています。関西広域の範囲は、具体化されていく中で明確になっていくと思います。
- ・ これらの視点をふまえ、めざす国際金融都市像として、
- ・ 「アジア・世界の活力を呼び込み『金融をテコに発展するグローバル都市』」、「先駆けた取組みで世界に挑戦する『金融のフロントランナー都市』」を掲げてはどうかと考えています。
- ・ 「金融をテコに発展するグローバル都市」では、「魅力的なまちづくりに向けた金融面からの推進」、「スタートアップおよび地域活性化のための多様な資金調達の支援」、「レジリエンス向上の観点による拠点機能の強化」などです。
- ・ 「金融のフロントランナー都市」では、「エッジの効いた先駆的な金融商品・市場の形成」、「サステナブルファイナンス先進都市に向けた取組み」などを考えてきました。
- ・ それでは事務局より、重点取組みイメージ等について説明をお願いします。

【事務局より「国際金融都市 OSAKA 戦略骨子(案)」説明、「アドバイザー意見」紹介】

【松本会長】

- ・ ただ今事務局から説明しました戦略骨子(案)とともに、アドバイザーからの意見は紹介したとおりです。では、時間に限りもございますので、1人3分以内でご発言頂けたらと思います。

【尾崎副会長】

- ・ 戦略骨子案に賛成。金融都市もさることながら大阪は世界とアジアとともに成長する都市、成長を牽引し国際的に活躍できる都市をめざすべきだと思っています。その中で大切な要素である金融は当然世界に向かって発展していかなければならないと思います。
- ・ 実現するにはロングスパンで考えなければならぬので、やれることからやっていくのが良いと思います。また他の分野、例えば観光、学術研究、文化、産業などとともに金融も国際化していくというアプローチが必要ではないかと思っています。
- ・ 2025年の万博は、国際都市としての大阪・関西をアピールする非常にいい機会です。万博の前後やレガシーも見据え、国際化や金融の発展に寄与する実験を、万博の中で行い、世界にアピールできればよいのではないかと考えています。
- ・ 金融は、お金のやり取りに加え、情報のやり取りがこれからは一層重要になり、本来の役割だと感じています。情報と金融をうまく結びつけられる仕組みを作ってはどうか。決済データや健康データなども金融情報の流れに乗ればスムーズに流通していくのではないのでしょうか。その実現のためには、スーパーシティに大阪も取り組んでいかなければならないと思います。万博を契機に、万博の準備段階やその後も、大阪・関西が国際化していく中で金融に取り組んで、世界にアツと思ってもらえるような仕組みを作りたいと思います。

【古市副会長】

- ・ 全体的な大きな流れ、理念、方向性、スケジュール感はしっかりと整理されていると思います。
- ・ 2025年・2030年・2050年というタイムスケジュールがある中で、各論の具体行動につなげていくには、投資家を惹きつけるエッジの効いた商品として何を設定するのかを早めに決めて、トライ&エラーの精神で、世界の投資家に対して提示する、という具体的なアクションが必要だと思います。

【吉村副会長】

- ・ 「グローバル都市」と「金融のフロントランナー都市」という2つのキーワードをもとに国際金融都市を進めていくということに賛成です。これから年度末に向けて具体的に肉付けしていくことになりませんが、専門家の意見を聴きながら実現していきたいと思います。
- ・ 2つのキーワードをもとに新しいことに取り組んでいく、金融サービスに関する規制緩和、税制などは国にも働きかけをしていこうと思います。
- ・ セキュリティトークンなどの新しい取組み、大阪になぜ必要かということも踏まえて新しいことにチャレンジしたいです。私は規制緩和路線の考え方ですが、この分野でもチャレンジし、エッジの効いた国際金融都市をめざしていきたいと思います。
- ・ 自治体としては企業や人材が来たくするような環境づくりが重要だと思います。住環境や医療など、国際金融都市として非常に重要な人材が来るときに家族が来たいと思える土台作りも自治体として進めたいので、そのあたりの肉付けもお願いしたいと思います。
- ・ 11月にはドバイ博覧会でジャパンデーやインターナショナルデーもあります。世界の要人と会う機会も増えてくると思うので、そういうときにどういう国際金融都市をめざすのかというPRや情報発信、プロモーションを自治体の長としてやっていくつもりです。今はまだ具体案が確定していませんが、PRできるものがあれば、専門家の意見で「広報組織を作る」という話もあったように、そういうものがあれば万博を推進する出張中に、そのエリアの国際金融都市の要人と会ってPRするなど地道にやっていくことを考えているので、広報のあり方など手段を作ってもらえればスピーカー役はやるのでよろしくお願いします。

【松井副会長】

- ・ 国際金融都市をめざすにあたり、金融関係各分野の委員や専門家の方々に様々な意見を出してもらい、3月末の設立総会から短期間で戦略骨子案を取りまとめいただき感謝申し上げます。
- ・ 国際金融都市をめざすにあたっては、海外へのプロモーションが非常に重要。万博でPRすることはもちろん、万博までの間も日本の外国人記者クラブや関西にある総領事館の皆さんに具体的な内容をしっかりと説明して本国にその情報が届くようにしていくことも重要。我々もそういう活動の中で、府市一体で取り組んでまいりたいと思います。
- ・ 短期・中期・長期と、最終は2050年の目標に向けて、今できることからスピード感を持って実施することが2050年の完成につながっていくと思いますので、引き続き皆様のご協力をお願いします。

【岩下アドバイザー】

- ・ 地域活性化部会の部会長をさせてもらっており、第1回の部会での議論なども踏まえて、骨子案についての考えを述べます。
- ・ 金融業界に30数年在籍していた立場としては、金融業界はなかなか変革しない、大手の銀行や証券会社というのは昔からその地位や序列といったものが変わらないという意味では、粘着性の高い業界だと

思っています。世界の金融都市というのも順位はあまり変わらない。イノベーションからやや遠い業界だが、このタイミングで議論するというのは非常にタイミングが良い。というのは、今まさに金融が大きく変わろうとしている、地殻変動を起こす時代になっているからこそこういう議論をする意義があるだろうと考えています。

- ・ 骨子案に「デジタル化」という言葉が出てきます。デジタル化というのは一見すると大阪という地域と関係がないと思われるが、この言葉が入ったことで従来の金融の序列や金融業界内の既得権益や規制の序列が大きく変わりつつあります。これからまさに大きく変わるタイミングであると考えられます。新興国は既に起こっており、中国やインドなど、今までに考えられなかったような金融サービスがどんどん提供されています。それに比べると日本のデジタル化は遅いが、遅いからこそこれからデジタル化に大いに取り組むことによって逆に他の国に起こっている大きな変革が取り込める。従来一番でなかったところをひっくり返して一番を取れるかもしれない、そういうタイミングだと考えています。
- ・ 地域活性化部会では STO や地域通貨、デジタル ID など新しいツールを活用して従来なかった新しい金融のサービスにチャレンジしていくことによって、大阪をこの発信元として大きな地殻変動をもたらすことに力強い様々な提案が出てきているところです。私としてはあまり具体的な対象を固定せずに様々なアイデアをカンファレンスのような形で持ち寄ってもらって、それらの発表の触媒となって大阪という地域がそういうものを育てていく、長い目で見て大阪が国際金融都市として成功していく道筋を付けられたらと思っています。

【引頭アドバイザー】

- ・ 3点述べさせていただきます。
- ・ 1点目。地球環境、社会との共存共栄について、各経済主体が責任をもって取り組むことが経済価値の追求の前提であるという考え方が広く行きわたりつつあります。この中で今回戦略全体の視点として地域発展、ESGs、サステナビリティといった考え方が全面的に取り入れられており、時節に合ったアプローチと大変期待しています。
- ・ 2点目。コロナ禍もあり、経済構造が大きく変わりつつあり、金融に期待される役割も従来とは大きく変わってきています。具体的には、様々な経済主体の取組みをきめ細く育み支えていくといった機能が求められているわけですが、残念ながら日本全体を見渡すと、金融を必要としている個々の様々な経済主体の声が届いているかという点必ずしもそうとは言えない面もあるかと思っています。今回の戦略策定においては、金融仲介を行う金融機関、自治体、投資家としての金融機関の視点は見ていると思いますが、これに加えて資金活用側の経済主体の視点、個人を含めた国内外投資家の視点など多面的なステークホルダーの視点を幅広く鳥瞰的に見ながら、声を聞きながら作り上げていくことが重要だと思っています。
- ・ 3点目。国際金融都市構想は日本の悲願であるが、残念ながらまだ実現していません。本構想の重点取組みの3つのアプローチ軸「育む」「呼び込む」「支える」のうち「呼び込む」が最も工夫が必要な部分だと考えています。情報発信や呼び込めるような制度設計はもちろん不可欠だが、それに加えてビジネス同士やビジネスと金融をつなぐことが重要だと思っています。これには情報というものをいかに集め活用しやすい形にしていくか、ということが大変重要になるのではないかと考えています。こうした取組みは民間レベルで個別に進めるのは限界があるかもしれないので、自治体として一歩踏み込んで取り組む必要があるのではないかと考えました。

【高屋アドバイザー】

- ・ ESG ファイナンス部会の部会長をさせて頂き、その議論を踏まえながら4点ほど述べます。
- ・ 1点目。部会では、グリーンボンドやソーシャルボンドをどのように企画・発行していくのか、あるいはそれがエッジの効いた金融商品、市場の育成に繋がるのではないかと議論しました。「サステナブルファイナンスの先進都市としての大阪」、これをアピール、育てていく意味でも ESG ファイナンスを軸にしていくことで大きな成果となっていくのではないかと議論がありました。但し、東京も同じ視点があり、グリーンボンドを軸にするというのも一つの考え方であるが、もう一つのソーシャルボンドについても力を向けていってはどうかという意見もあります。ソーシャルボンドはかなり範囲が広いが、その分野でのエッジを効かせた商品を大阪の魅力として発信できる可能性があるのではないかと考えています。それを手掛かりにするには万博ボンドの発行という形でのソーシャルボンド発行は一つの試みではないかと思えます。少し先走ったような話ではあるが、そのような取組みも考えられるのではないかと思えます。
- ・ 2点目としては住環境。大阪は医療機関などは整っているし、食文化も世界に冠たるものがあります。住環境も遜色はないが、外国人駐在員の子弟の教育について、インターナショナルスクールの強化が必要だと考えています。呼び込んで、来てもらって住んでもらうためには家族の環境が重要であり、その点で教育面、インターナショナルスクールの強化が今後の課題として挙げられるのではないかと考えています。
- ・ 3点目として規制緩和。大阪の国際金融都市構想は規制緩和の土壌の中で発展していくのではないかと感じています。金融とデジタルは今や切っても切り離せない関係にあるので、デジタルを規制緩和の実験台とするようなレギュラトリー・サンドボックスを大阪で発展させるのも一つの大きな試みではないかと思えます。難しい面があろうが、「やってみなはれ」精神でやってみるのも大阪の一つの持ち味ではないでしょうか。
- ・ 最後に、これら一連の試みを府民・市民へどうアピールしていくのか、どのようなメリットがあるのかを積極的にアピールしていく必要があると考えています。

【松本会長】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 続きまして、まずは会場の皆様からのご意見をお聞きできればと思います。

【岩井コスモ証券 沖津委員】

- ・ 骨子案は短期間でよくまとめられていると思います。今後は概念論に終始することなく、それらを具体的に実現していく姿勢、行動・活動が必要だと思えます。しかしながら実行していくのは大変な労力が必要であり、民間の協力体制が必要だと思えます。
- ・ 海外投資運用会社の大阪への誘致は国際金融都市としての一丁目一番地だと思うが、そのためのリスト作りをはじめとする諸活動や、自治体の通常業務では関連の薄い金融・証券の専門的な知識や知見などを府市の職員へ提供することで協力、貢献できればと考えています。
- ・ 当社の専門スタッフで、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、香港などの金融都市で証券業務に従事した職員を先日府市と締結した事業連携協定に基づき、ご要望があれば大阪府に派遣する用意が整っています。
- ・ いずれにしても国際金融都市の実現には時間も労力も大変掛かることから、民間の具体的な協力体制が必要だと真に思います。議論することについても具体的な活動や行動姿勢を中心に進めていく必要が

あろうと考えています。

【大阪取引所 岩永委員】

- ・ 骨子はよくまとまっており、内容にも賛同します。世界から大阪に投資を呼び込むためには、大阪・関西の地で会社や事業が起きてそれが大きく成長するといった成功事例が必要です。大事なのはそれを支援する仕組みの整備だと思います。その点で大阪取引所としてはデリバティブマーケットの市場開設者というだけでなく日本取引所グループの西の拠点として、関西以西の企業の IPO を支援する部隊を既に大阪に常駐させています。今後この活動をもっと積極化していくことでこの分野において役に立てるのではないかと感じています。
- ・ 骨子の中で金融のレジリエンスを向上させるという記載がありますが、この点では大阪取引所の新しい売買システムが再来週の連休明けに稼働する予定であり、併せて、その新システムのバックアップセンターをこれまでの関東から関西に移設します。今後は、東証の株式売買システムのバックアップセンターも更新時に移していこうと思っていますので、何らかのお役に立てるのではないかと考えています。
- ・ さらには、そのバックアップセンターだけではなく、日々のシステムの運用部隊も大阪に常駐させています。大阪取引所のシステムだけでなく、日本取引所グループ全体のシステム運用及び監視を東京・大阪の2拠点で行い、マーケットのレジリエンス向上に資する体制を、大阪拠点の機能強化を果たすことで実現したいと思っています。
- ・ 今回は骨子であり今後詳細な議論が行われることとなりますが、この分野においても大阪に存在する取引所として協力していきたいと思っています。

【日本貿易振興機構大阪本部 根本委員】

- ・ 骨子案において、共通する取組みのところで、国内外から企業・人を惹きつけるというところや、情報発信、プロモーションといったところはジェットロも一生懸命頑張らなければいけないところだと思っています。ジェットロは海外に 55 か国 76 箇所の事務所を持っているので、こういった海外ネットワークを使って国際金融都市 OSAKA という魅力を十分に発揮していきたいと思っています。
- ・ 併せて海外の現地のスタートアップ企業の誘致を図っていきたいと思っています。具体的には金融庁と Fintech 協会の協力の下9月 17 日にアメリカの Fintech 企業のピッチイベントを行う予定ですが、こちらの企業も日本への投資に関心を持っており、こういった海外での先進的なスタートアップ企業を発掘して大阪に誘致したいと思っています。

・オンライン出席委員からは意見なし。

・骨子案について議決。<各委員「異議なし」>

【松本会長】

- ・ アドバイザーや委員の皆様の貴重な意見をありがとうございました。
- ・ 今回の戦略骨子案について承認したいと思いますが、いかがでしょうか。ありがとうございます。これからも皆様のご意見を十分に聞いて、具体的に一步一步、一つ一つ進めていきたいと思っています。担当者レベルの幹事会やテーマ別部会でも検討し、万博が開催される 2025 年までを短期、2030 年までを中期、

それぞれの時点での具体的なアクションを掲げていきたいと思います。

- ・ 本日予定していた議事は以上です。

(進行を事務局に返す)

4 閉会

【司会】

- ・ 松本会長ありがとうございました。
- ・ ご承認いただいた戦略骨子については、近日中に府・市ホームページで公表しますので、その際には改めて委員の皆様にご連絡します。
- ・ また、今後の委員会のスケジュール等については、具体的取組みについて部会・幹事会での検討を進め、年度末の総会、戦略の公表と進めていく予定です。詳細については、後日、事務局から連絡します。
- ・ それでは、これをもちまして、「国際金融都市 OSAKA 推進委員会 2021 年度第1回総会」を終了します。皆様ありがとうございました。